

2019 年度卒業・修了時満足度調査に関する分析(学士課程)
(公表版)

2021 年 3 月
埼玉大学教育機構

【目次】

学部(学士課程)全体

1	回答者の特性	2
2	卒業後の進路	3
3	科目群ごとの満足度	4
4	能力、姿勢、態度	5
5	本学の推奨度	7
6	大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	8

調査実施方法(学部)

○アンケート実施時期 : 2020年3月6日～2020年3月31日

○2020年3月卒業者数 : 1,532人

○有効回収数 : 418

○回収率 : 27.3% (有効回収数/3月卒業者数)

※本アンケートは、Web学生システムの「アンケート」により回答を依頼した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

学部(学士課程)全体

1 回答者の特性

- ・ 回答者の学部別割合では、教養学部、理学部、工学部の回答者の割合が、卒業生の学部別割合より高くなっているため、全体の傾向としてみるには留意が必要である。(図1)
- ・ 学部別回収率は、教養学部が35.4%と最も高い割合となっている。次いで理学部が34.3%、工学部が29.2%、教育学部が25.8%、経済学部が14.9%となっている。(図2)

図1 卒業生・回答者の学部別割合

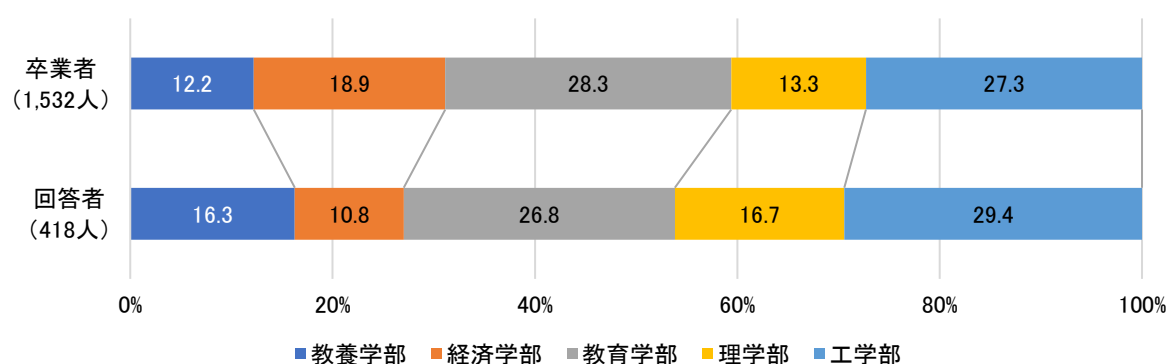
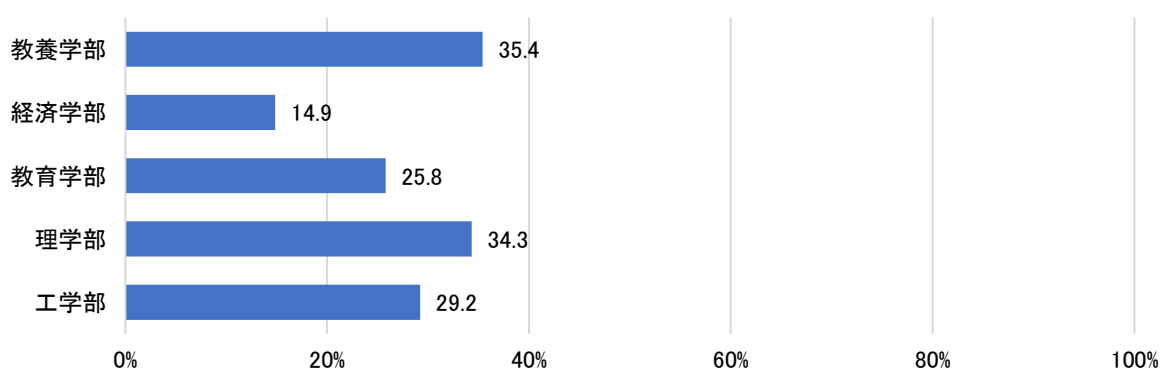


図2 学部別回収率



2 卒業後の進路

- ・「進学」は 32.5% (うち本学研究科 27.3%)、「就職する」は 64.8% となっている。また、進学者全体における「本学研究科に進学する」学生の割合は 84.0% を占めている。(図3)
- ・「情報通信業」は 13.2%、「小・中・高等学校・特別支援学校教員、幼稚園教諭、保育士」は 12.9%、「地方公務員」は 7.9%、「製造業」は 4.3%、「金融業・保険業」は 4.1% となっている。(図4)

図3 進学される方は、進学先をお答えください。就職される方は、「就職する」をお答えください。進路未定の方は「未定」をお選びください。【進路別の割合】

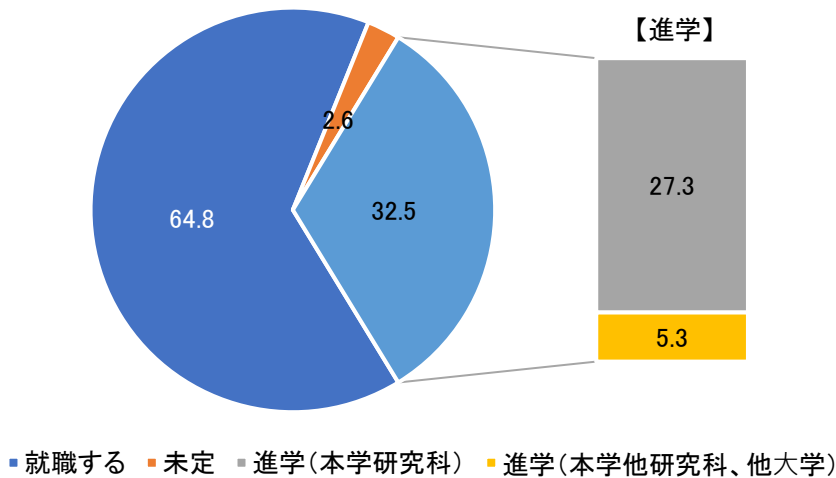
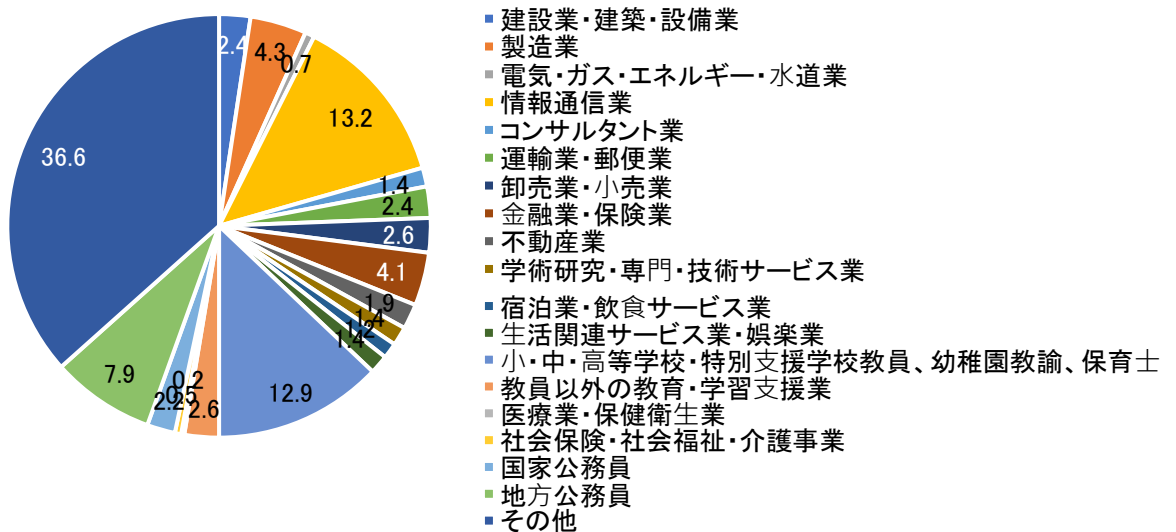


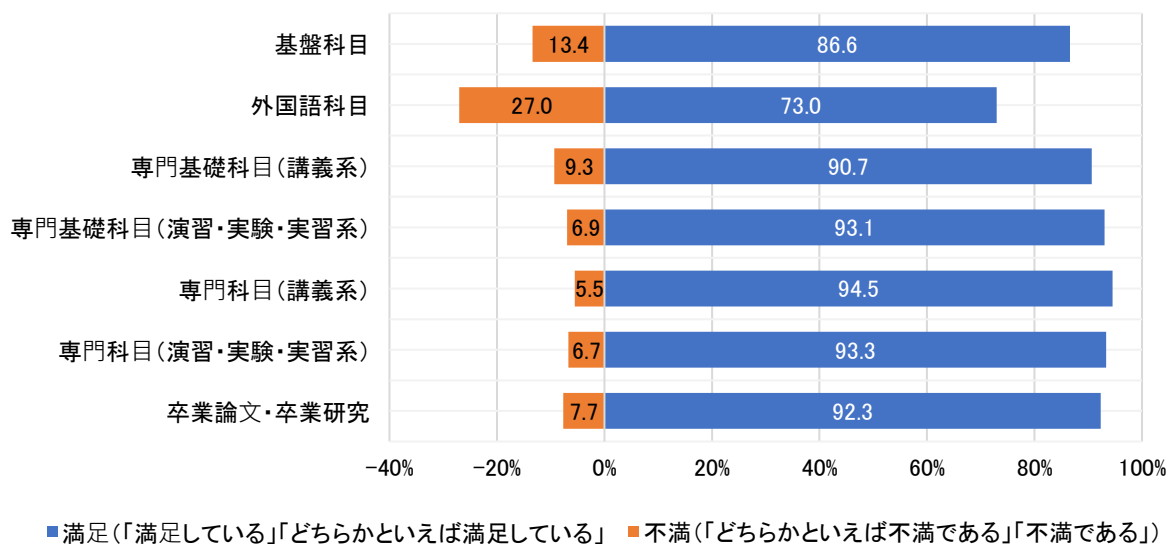
図4 就職される方は、就職先を以下のリストの中からお選びください。進学される方はその他をお選びください。【業種別の割合】



3 科目群ごとの満足度

・「専門基礎科目(講義系)」、「専門基礎科目(演習・実験・実習系)」、「専門科目(講義系)」、「専門科目(演習・実験・実習系)」、「卒業論文・卒業研究」の満足度は90%以上と高い。一方、「外国語科目」の満足度は73%とやや低い。(図5)

図5 科目群ごとの満足度をお聞かせください。【満足度】

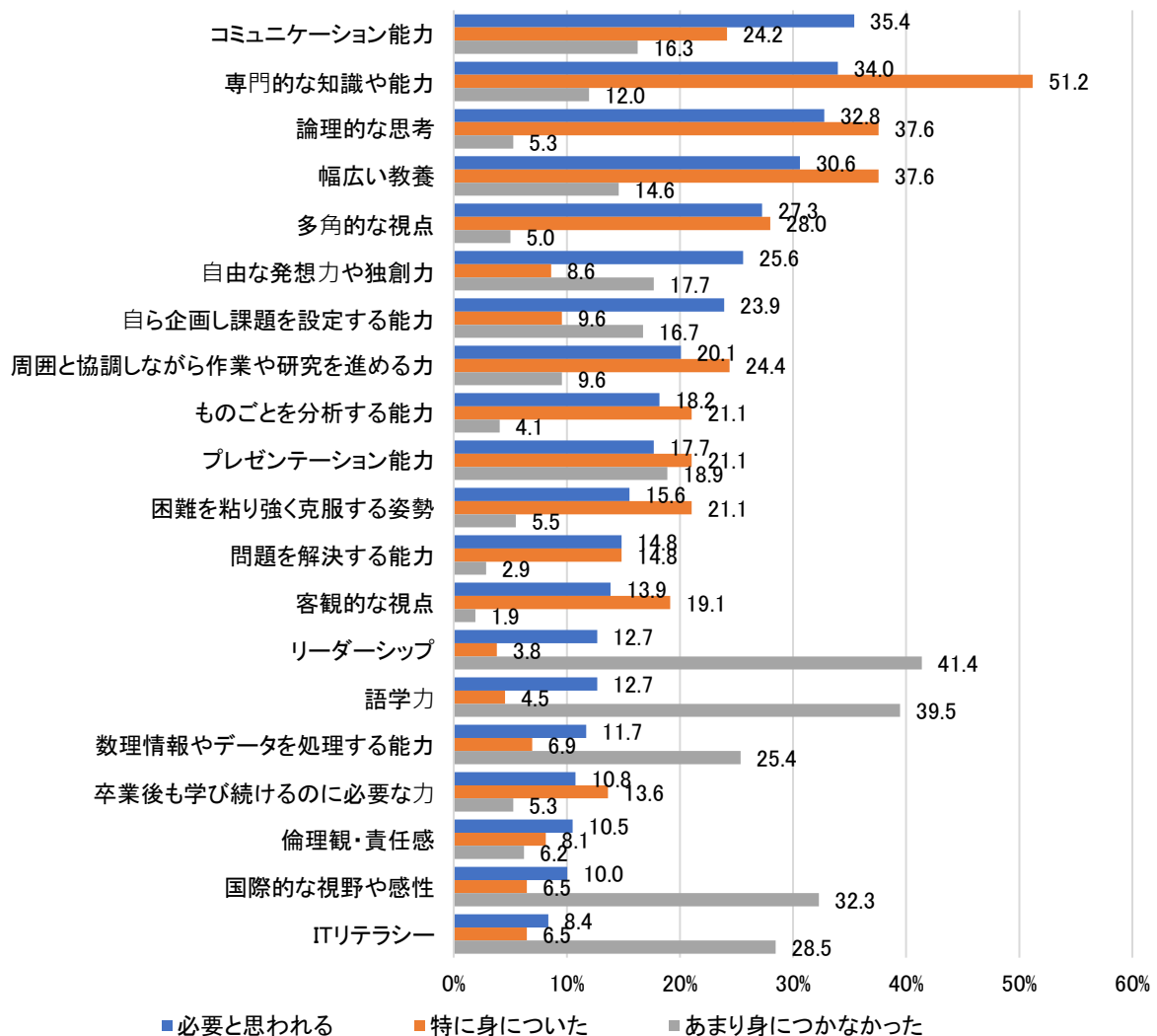


※科目群ごとの満足度について、「満足」の回答の割合は横軸の正の値、「不満」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

4 能力、姿勢、態度

- ・ 「必要と思われる力・姿勢」、「身についた力・姿勢」、「あまり身につかなかった力・姿勢」をそれぞれ5つまで回答してもらったので、いずれも他の能力等と比較して選ばれた相対的な評価になっていることに注意する必要がある。
- ・ 図6は「必要と思われる力・姿勢」の回答数の順番に並べたものである。学生自身が重視している能力は、身についたとする割合が高い傾向がある。重視している能力の上位の中で、特に「専門的な知識や能力」、「論理的な思考」、「幅広い教養」、「多角的な視点」は身についたとするものが、身につかなかったとするものを上回っている割合が大きい。他方、「自由な発想力」、「自ら企画し、課題を設定する能力」は割合が逆転している。
- ・ 学生自身が重視していない能力のうち、「リーダーシップ」、「語学力」、「国際的な視野や感性」、「ITリテラシー」、「数理情報やデータ処理能力」は身につかなかったとする割合が大きかった。相対的な評価ではあるにせよ、今後の学士課程教育を検討する際の課題である。

図6 大学を通じて特に身についたと思われる力・姿勢、あまり身につかなかったと思われる力・姿勢、これから学ぶ人に特に必要と思われる力・姿勢を5つまでお選びください。【数字は回答割合】



本質問項目では学部ごとの特徴が表れていたのを補足しておく。

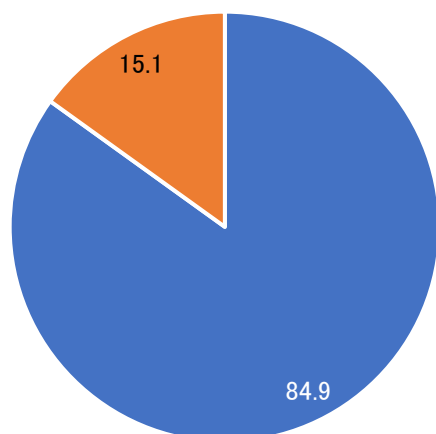
- ・ 「必要と思われる」能力等については、「幅広い教養」が教養学部で最上位であるが、理学部では下位であった。「リーダーシップ」は教養学部、経済学部、教育学部で中位であるが、理学部、工学部では下位であった。「国際的な視野や感性」は教養学部では中位であるが、他学部では下位である。「ITリテラシー」は工学部で中位、他の学部では下位であった。「数理情報やデータを処理する能力」は理学部と工学部で中位、他の学部は下位であった。
- ・ 「特に身についた」能力等について 50%を越える回答があったのは、教養学部で「幅広い教養」69%、理学部で「専門的な知識や能力」69%、「論理的な思考」57%、工学部で「専門的な知識や能力」55%となっている。
- ・ 「あまり身につかなかった」能力等について 50%を越える回答があったのは、教養学部で「リーダーシップ」53%、理学部で「リーダーシップ」50%であった。
- ・ 「ITリテラシー」と「数理情報やデータを処理する能力」については、あまり身につかなかったとする回答が教養学部、経済学部、教育学部で 30%を越えており、文系学部が高くなる傾向が表れていた。

5 本学の推奨度

- ・ 本学の推奨度は総合的な満足度を反映したものと考えられるが、「推奨する」、「どちらかといえば推奨する」が 84.9%となっている。(図7)

図7 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

【推奨度】

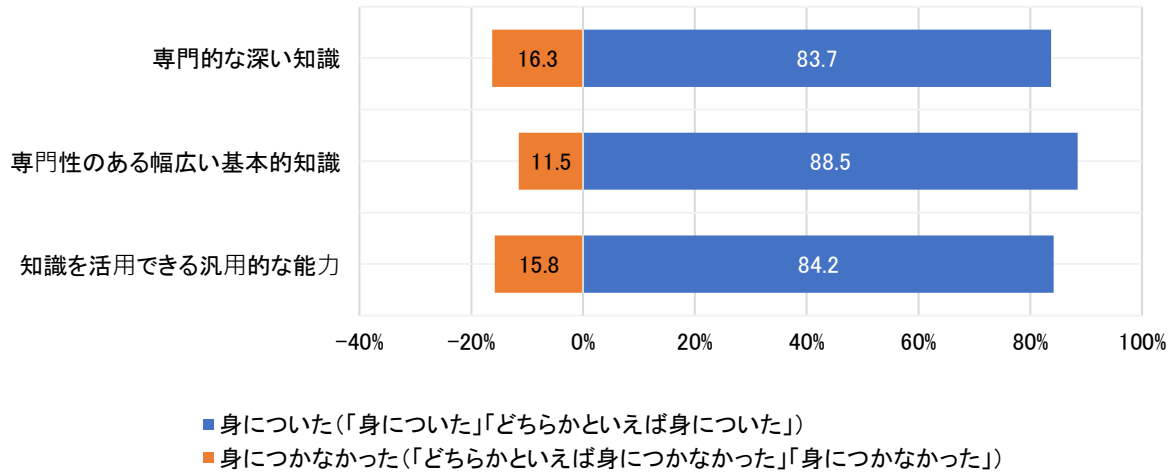


- 推奨する(「推奨する」「どちらかといえば推奨する」)
- 推奨しない(「どちらかといえば推奨しない」「推奨しない」)

6 大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

・ 3つ全ての項目で「身についた」の割合が8割以上となっている。(図8)

図8 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】



※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。